

「あらかわの心」ニュース



【発行】「あらかわの心」推進運動区民委員会
 【事務局】〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部計画課内 TEL 3802-3111 内線 3812 FAX 3802-0809
 【メールアドレス】arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 【ホームページアドレス】http://www.2.bbweb-arena.com/arakawa/

第3号 平成18年11月20日発行

おせっかいおじさん・おばさん運動 を展開しています

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、おせっかい、つまり誰かに世話を焼くことや支え合うことは、人が地域で生きていくために大切なことであり、他人に関心を持つことの必要性を呼びかける必要がある、と考えています。そこで、「あらかわの心」推進運動の一環として、新たに「おせっかいおじさん・おばさん運動」を展開していきます。この運動をきっかけに、普段「おせっかい」にためらいを感じている人が、勇気をもって一歩を踏み出せるよう、さまざまな啓発活動を行います。

体験談を募集しています

おせっかいはして良かった・嫌だったなど、あなたが感じたおせっかい体験談を募集します。

・対象 荒川区在住・在勤・在学の方（年齢は問いません）
 ・テーマ おせっかいはして良かった・嫌だった体験、おせっかいはされて嬉しかった・迷惑だった体験、こんなおせっかいは目撃したなど
 ・字数 400字程度

※応募方法は、住所・氏名・性別・年齢を明記してください。

①「あらかわの心」区民委員会事務局へ郵送
 ②パソコンまたは携帯電話でホームページにメール

※応募していただいた体験談は、「あらかわの心」啓発活動のために使用させていただきます。

※応募作品には、住所・氏名・性別・年齢を明記してください。

もっと自信を持っておせっかいは

「あらかわの心」推進運動区民委員会

幹事長 星 一郎

おせっかいという言葉は、今日ではあまり良い印象を受けません。しかしおせっかいは、少なくとも他者に関心を持たないと起きませんから、他人との関わり方の一つの表れと言えます。

節度のある介入は、人間関係を作っていくために、当然に必要なことではないでしょうか。ですから、私たちはもっと自信を持っておせっかいはした方がよいのです。

おせっかいはすると「人の心に土足で入ってくるな」と言われますが、こちらを靴を脱いで入るつもりでおせっかいは続けると良いですね。

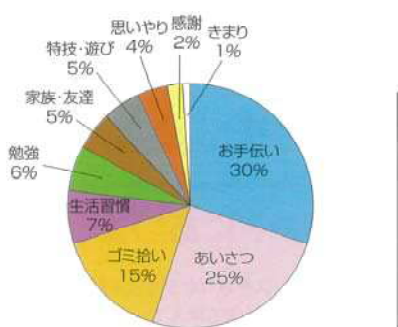
（心の東京革命推進協議会専門員）



▲「あらかわの心」推進運動PRブースです

▲アンケートの回答がはなざがり！

「ほくの・わたしのできること」アンケート集計結果



川の手荒川まつりでPR活動を展開

「寸劇・アンケートなどを実施しました」

4月29日（祝）、南千住野球場と周辺地域で、川の手荒川まつりが行われました。「あらかわの心」推進運動区民委員会では、ステージで寸劇を上演したり、アンケートを実施したりして、推進運動のPRを行いました。

寸劇は、推進運動についてPRする「出前説明会」の一環として行っているものです。あらすじは、「久しぶりに上京したおばあちゃんが、都会の人たちの傍若無人ぶりに戸惑っていると、近所に住む女性や世話焼きの男性が声をかけてくれる。みんな話をするうちに、失われつつある「あらかわの心」の大切さに気づいていく…」というものです。ステージを観覧していたお客さんからは、「おばあちゃん頑張ってる！」などのかけ声もあり、楽しみながら理解を深めていただくことができました。

また、「あらかわの心」ブースでは、大人を対象にアンケートを実施するとともに、子どもを対象に「ほくの・わたしのできる」ことを書いてもらいました。大人からは395人分、子どもからは203人分の回答をいただきました（左上表）。中でも「家の手伝いができます」という答えが最も多かったです。



▲ちよっつ！おばあちゃんに乳母車がぶつかりますよ！

お知らせ

「あらかわの心」ピンバッジを有償頒布します

「あらかわの心」シンボルマークのデザインをもとに作成したピンバッジを、有償で頒布します。

皆様からのご注文をお待ちしています。金額：1個300円

ホームページを開設しました

「あらかわの心」推進運動区民委員会のホームページができました。ぜひアクセスしてください。

たすき・のほり旗を貸出します

講演会や清掃活動に、とても目立つ「あらかわの心」啓発グッズはいかがですか。

区役所2階・子育て支援部計画課にて貸出ししています（無料）。

「体験」特集

「あらかわの心」推進運動では、あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守りの5つを「心をつなぐ5つの取り組み」として推進しています。今号では、荒川区内のさまざまな団体やグループが行っている事業のうち、子どもたちが貴重な体験をした活動をご紹介します。

第30回わんぱく相撲荒川区大会

5月20日(土)、荒川総合スポーツセンターで「わんぱく相撲荒川区大会」が開催されました。

当日は、小学1年生から6年生までの子ども力士約280名が、学年ごとに男女別に分かれ、熱い戦いを繰りひろげました。

心豊かに育つ鍛錬の場として子どもたちには勝つことの喜び、負けることの悔しさ、敗者への思いやり

を学んでもらうことを目的として開催しています。

(社)東京青年会議所 第二地区特別委員会 荒川地区



ホタル幼虫放流会

5月27日(土)、三河島浄水場の上にある荒川自然公園の「ホタルのせせらぎ」で、ホタルの幼虫の放流会が行われました。

今年で第7回目となる放流会には、道灌山幼稚園、第四峽田小学校の子どもたちや、昨年、幼虫飼育をお願いした家族の皆さんたち約70名が集まり、小雨模様の中、7ヶ月育て

てきたヘイケボタルの幼虫を放流しました。

(東京荒川ロータリークラブ) (「荒川区ホタルを育てる会」支援事業)



ザリガニ取り大会

6月25日(日)、西尾久東町会恒例のザリガニ取り大会が行われました。大人と子ども合わせて55人の参加を得て、車両10台に分乗し、埼玉県草加方面の用水路へ向かいました。

竹竿の先に糸を垂らし、スルメをゆわく昔ながらの方法で釣りを楽しみました。子どもたちにはお菓子を

配り、みんなでおいぎりを食べて帰路につきました。

(西尾久東町会文化青少年部)



中学生と乳幼児のふれあい体験授業

7月5日(水)、尾久八幡中学校で、中学生と乳幼児のふれあい体験授業が行われました。これは、将来親となる中学生に、命を大切にすることを育んでもらうために実施されました。

授業では、はじめに赤ちゃんの人形を使った実習や妊婦体験などを行い、次に実際の赤ちゃんとのふれあい、泣いている子をあやすなど、

親の大変さ、命の大切さを学びました。

(尾久八幡中学校)



尾久宮前小学校合宿通学

合宿通学は、子どもたちが地域で異年齢での共同生活をしながら通学するもので、体験を通じて子どもたちの「生きる力」を養うことを目的に実施されています。

7月5日～8日(水～土)に行われた尾久宮前小学校の合宿通学では、地域の町会会館に、同小学校の4～6年生46名が宿泊し、商店街への買い出しから食事の用意・後片付け、銭湯での入浴、工場見学など、みんなで力を合わせて3泊4日を過ごしました。

この合宿通学は、今年度は区内

8ヶ所で実施されます。それぞれ、PTAや町会、商店街など地域の大人たちが中心となって実行委員会を結成し、子どもたちのために様々な工夫をしています。

(尾久宮前小学校)



一日子ども会

7月22日(土)、総合スポーツセンターのプールと南千住警察署の中庭を会場に、一日子ども会が開催されました。

これは、南千住母の会主催(青少年対策南千住地区委員会共催)で行われたもので、南千住地域の親子136名が参加しました。

参加者は、お巡りさんの指導のもと、プールでたくさん遊んだあと、警

署の中庭でバーベキューの食事を楽しみました。

(南千住母の会)



わんぱく冒険ランドにあつまれ

8月20日(日)、南千住野球場にて、デイキャンプ体験が行われました。これは、児童の年齢に応じて、身近な資材を利用した冒険プログラムを体験学習するものです。

参加した子どもたちは、生地を割りばしに巻きつけて炭火で焼くツイストパン作りや、丸太とロープで作られたつり橋を、落ちないようにバラ

ンスを取りながら渡る体験など、楽しみながら学んでいました。

(青少年対策南千住地区委員会)



平成18年度の合宿通学

汐入小学校	11月7日(火)～11月11日(土)	4泊5日
峽田小学校	10月4日(水)～10月6日(金)	2泊3日
第二峽田小学校	9月20日(水)～9月23日(土)	3泊4日
第三峽田小学校	10月18日(水)～10月21日(土)	3泊4日
第七峽田小学校	6月14日(水)～6月17日(土)	3泊4日
尾久小学校	6月14日(水)～6月18日(日)	4泊5日
尾久宮前小学校	7月5日(水)～7月8日(土)	3泊4日
第二日暮里小学校	10月2日(月)～10月5日(木)	3泊4日

あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り
「あらかわの心」推進運動～心をつなぐ5つの取り組み～